

日本で驚いたこと

私はトゥエンと申します。ベトナムから参りました。去年の7月から実習生として日本に来ました。今、伊藤ハム会社で働いております。これからスピーチを発表させていただきます。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

日本へ初めてくる外国人の自分にとっては日本の食べ物も、日本の文化も、日本の景色も、見掛けるもの全てが驚きの対象です。しかし、一番驚いたことは日本人の犬の飼い方です。犬を見てびっくりしたことがあります。どうしてそんな可愛い犬がここにいるのでしょうか。

私は3年前に一本の映画を見ました題名はハチ公物語です。多分皆さんもご存知ですね。映画の中の犬は雨の日も、風の日も、雪の日も、渋谷駅ですずっと飼い主を待ち続けていました。でも、その時私は本当にあったこととは信じられませんでした。そんなことは映画の中だけの話だと思いました。けれども今年の一月に渋谷駅に行ってハチ公は本当にここにいたと知りました。皆はハチ公像の前に並んで写真を撮っていました。

さらに、もっと驚いたのは犬のお世話をする日本人です。日本人は犬が大好きなのでしょうね。犬は特別な呼び方をされています。ワンチャンです。いかにも子供らしい呼び方だと感じました。会社で私もトゥエンチャンと呼ばれています。ワンチャンはその上、人間と一緒に食事をしたり、一緒に寝たり、一緒に話しをしたり、少しでも時間があれば散歩に連れて行ってもらえます。公園や道でもワンチャンと散歩しているご夫婦は珍しくありません。このような扱いを受けているワンチャンとは家族も同然なんじゃないのでしょうか。本当に仲がいいなと思います。特に飼い主はいつもビニール袋と水筒を持っていて、もし、ワンチャンがはいべんした場合は飼い主は犬のフンを拾って、家に持って帰ります。そうした行いはとてもいいと思います。ワンチャンと散歩しながら話しをすることはとても楽しい時間になっていると思います。

ある日、ベビーカーを押している奥さんを見ました。ベビーカーの中はきっと彼女の子供だと思いました。でも、間違っていました。その中に帽子をかぶって、眼鏡をかけて、スカートをはいて、靴下をはいている可愛い犬でした。本当にびっくりしました。そして、うらやましいとも感じました。単なるペットではなく、家族の一員のように大切に思っている方も少なくないのでしょう。

いつか、一人暮らしをしたら、私は絶対、犬と暮らしたいです。

皆さん、ご静聴ありがとうございました。